

解体用機械を起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種（小）	事故の型	労働者規模
2017	1	15～16	産業廃棄物中間処理場内で、フレコン袋（1?袋）のヒモ部分を手持ち、0.4バックホーのグラップルに挟ませようとして右手小指側の側面が挟まれ骨折した。	28	40301	7	50～99
2017	1	2～3	会社倉庫内にてレンタル工具の整理を行う為、重さ約30kgのブレーカーのノミを交換する作業を行っていたが、誤って手元が滑ってしまい、ノミが付いた状態のブレーカーが右足の上に落下し、右足の甲を負傷した。	30	30199	4	—
2017	1	10～11	作業現場で重機のアタッチメント（フォーククロー）の取り外しをしていたところ、本来抜くべきピンではないピンを抜いたとき、フォーククローが閉じてきて手をはさまれた。	32	11209	7	—
2017	2	14～15	木造建物（住宅及び蔵）を解体工事中に被災者が木片を拾っている際に重機オペレーターが排水枡をアイアンフォーク付バックホーにて撤去する際に被災者が急に排水枡近くの木破片を拾おうとした時にアイアンフォークに挟まれ右手人差し指を負傷（切断）したものである。	21	30202	7	—
2017	2	10～11	共同住宅新築工事において杭頭処理中天端に乗ってブレーカーを使用中ノミ先が滑りブレーカーと鉄筋の先端に左手薬指を挟み負傷した。	43	30201	7	1～9
			工場現場において重機アタッチメント交換をする際、鉄筋棒を穴に				

2017	2	9~10	差そうとしたが入りにくかったので、オペレーターが、アタッチメント部分を少し動かした時アゴに鉄筋棒が当たってしまいアゴを負傷した。	47	30202	6	—
2017	2	15~16	会社材料置場にてコンクリート二次製品をブレーカーにて小割作業をしていてブレーカーを仮置きしようとした時、滑って左足甲に当たり負傷した。	64	30209	4	—
2017	2	15~16	廃棄物の選別作業を行っている際、重機で廃棄物をつかんだ時に塩化ビニールパイプが折れて、その破片が弾け飛び被災労働者の左目下部に当たり負傷したものである。	46	150102	4	50 ~ 99
2017	2	8~9	廃棄物の分別作業をしていたところ廃棄物を移動させていた油圧ショベル（ユンボ）のキャタピラー部分に接触して負傷した。	57	150102	7	1 ~ 9
2017	2	10~11	分別場にて、バックホー運転者が廃棄物を搬入後、バックホーの運転席にて、廃棄物の分別処理作業中の被災者に、搬入した廃棄物について打ち合わせを行うために話しかけた。バックホー運転者は、安全レバーを引き、作業を中断した。打ち合わせ終了後、被災者が立ち去ったと思い作業を再開するために、安全レバーを戻し、バックホーを方向転換するために右側のキャタピラーを後進させた。その時、被災者の左足がキャタピラーの下敷きになり骨折した。安全靴を着用していた。	38	150102	6	10 ~ 29
2017	2	11~12	家屋解体現場にて、トン袋の中に木屑を集め車に積み込む作業の中でバックフォア0.25のフォークに掛け吊す際にフォークの運転手の安全確認が、不十分によりフォークにトン袋を掛ける作業員の手まで、挟んでしまい負傷した。	64	30199	7	10 ~ 29
2017	2	18~19	ニブラ場にてブロアモーターの入ったフレキシブルコンテナ袋にある程度モーターが溜まってきたので、折り曲げてある投入口を手で伸ばそうとしたところ、取っ手が底の方にずれていたため、モーターの重量で手での作業が困難と判断し、ニブラを使用して取っ手	21	150102	7	10 ~

			を引き上げようとした。その際、確認不足のため、補助作業員の右手親指を一緒に掴んでしまい災害が発生した。						29
2017	3	14~15	建物解体現場にて、2階のコンクリート部分を建物から切り離す作業をしていた際、コンクリートの塊と一緒に2階部分から落下し、全身を強く打ち負傷した。	43	30309	1			1 ~ 9
2017	3	9~10	機械室（5m×6m）の物置改修のために、床のコンクリート基礎部分（高さ10cm、面積3㎡）解体工事において、コンクリートブレーカーのエアホースの接続部分が突然金具ごと外れ、近く（1m）で残材搬出作業中の被災者の顔部分にエアホースの先端が当たり負傷した。	62	30110	4			1 ~ 9
2017	3	17~18	改修工事現場にて、バックホウにて土間コンクリートを解体中、同じ作業を繰り返し行っていたため、作業終了時に左腕の肘に違和感が生じた。	50	30209	19			10 ~ 29
2017	3	8~9	顧客宅の解体工事現場で、解体作業を始めたところ、作業を進めるにあたって作業現場にあったフレコンバッグが邪魔になると思い、重機のクローを使って移動させていたところ、両者の合図違いにより、相手が持っていたフレコンバッグの取手ごと右手をクローで挟んだ。	27	30209	7			1 ~ 9
2017	5	13~14	現場にて、ブロック塀をコンクリートカッターで切る作業をしていた。ブロック塀内の鉄筋を切ろうとしたところ、コンクリートカッターが跳ね返り、刃が右頬に当たり、長さ13cm程切ってしまった。	43	30209	8			1 ~ 9
2017	5	16~17	当社工場内において破碎機の運転席から地面に降りようとキャタピラに乗った際、足が滑り勢いよく地面に足を着き転倒し、足首を捻り負傷した。	44	10901	3			10 ~ 29
2017	5	11~12	発生ガラをダンプに積み込む時に、重機とガラに手を挟み負傷（左手母指）したものである。	37	30209	7			1 ~ 9

2017	5	9~ 10	木造2階建て解体工事現場で、作業員が重機のアタッチメント交換時に、固定ピンの位置合わせをしていた際、無意識に置いていた左手を機械の部品に挟まれた。	21	30201	7	30	~	49
2017	5	15~ 16	工場解体現場のスクラップ集積ヤードで、次のスクラップ積込車の連絡を受け誘導の為、ゲートまで歩いて行く時に6m離れた場所でスクラップの選り分け作業をしていた解体重機（フォーク）より長さ2m、径40mm程度の配管材（9.9kg）が被災者の左腕付近に激突した。	42	30209	4	1	~	9
2017	5	10~ 11	工場現場内にて、コンクリート取り壊し作業中、コンクリート壁を撤去する時にコンクリートの上に乗って作業していた際、コンクリートブレイカーが滑って右足のつま先付近に接触した。	36	30199	7	1	~	9
2017	5	11~ 12	解体工事現場において、フェンス周りの土間コンクリートを除却するためブレイカーで掘削作業中、コンクリートの下が軟らかかった為か急に落ち込んだ際、土間に埋めていた鉄角柱にブレイカーを持っていた右手指を挟み負傷した。	45	30202	7	1	~	9
2017	6	1~2	外部既設RC柱の根元部分をハンドブレイカーで解体作業中、ハンドブレイカーの先端が衝撃で横に滑り、右足に接触し負傷した。（右足甲骨折）	43	30309	8	1	~	9
2017	6	15~ 16	被災者が、6tトラックで廃材入りフレコンを運搬し荷卸作業中、フレコンに固定してある吊りバンド部分をバックホウのフォークで挟み易いよう持ち上げて開いたところ、バックホウのフォークに右手人差し指を挟まれて負傷した。	62	30209	7	10	~	29
2017	6	9~ 10	重機の手元作業中、玄関ドア上部の金具が外れ、手元をしていた被災者の左前腕に落下し、左前腕部を負傷した。	19	30209	4	1	~	9
2017	7	11~12	家屋解体工事に於いて、被災者は斜面で重機ごと転倒し、負傷した。	66	30209	2	1	~	9

2017	7	10～ 11	ユニットバス設置工事にて、既設の浴室を取り壊す際に壁のコンクリートを研っていたとき、コンクリート欠片が右足に落下し、右足小指を負傷した。	36	30302	4	1 ～ 9
2017	7	9～ 10	木杭（φ25×?1.6m）を平コンテナに収納する作業をしていた。サイズが大きめだったため、重機オペレーターが重機で木杭をつまむことになり、被災者は、重機オペレーターがつまみやすいように、木杭を縦向きにして立てて支えていた。重機オペレーターが木杭の上のほうを重機でつまんだ際、木杭が動き、被災者の左内股に当たり、被災者が倒れ、自分のヒジが肋骨に当たった。	55	30201	6	1 ～ 9
2017	7	16～ 17	フェンスのコンクリート基礎解体時、側歩道から1m程離れ、ガードフェンスでL型に囲われた場所で、重機オペレーターと合図者による解体作業中、ユンボのクラッシャーが合図者の右足に接触し、土間とクラッシャーの間に合図者の右足が挟まれた。またオペレーターが挟まれた状態を回避しようとブームを上げた際、クラッシャー爪部に体が引っ掛かり、合図者が転倒し、基礎コンクリートの破砕面に左頬をぶつけて裂傷を負った。	62	30201	7	10 ～ 29
2017	7	10～ 11	解体工事現場にて、重機から降りる際に重機のオイルで滑って転倒し、左足根骨と左足関節を負傷した。	50	30209	2	10 ～ 29
2017	7	14～ 15	当社が請負う解体工事現場内において、下請負会社の従業員が、工場の撤去のための解体作業をしていた。ユンボのアタッチメント（小割機）を取り替えようとしたところ、誤ってユンボのバケットが、交換用として近くに置いておいたアタッチメント（2t、幅60cm、高さ150cm）に接触してしまい、交換用アタッチメントが倒れ、壁とアタッチメントに挟まれてしまった。その際に胸を打ち、小指を挟んでしまい負傷した。	50	30209	5	1 ～ 9
2017	7	11～	配達先で重機に給油作業中、重機から降りるとき、足を滑らせ落下	64	80204	1	10 ～

		12	した。						29
2017	9	16~ 17	解体工事の現場内で、フレコンバッグをバックホーで掴む際、フレコンバッグのバランスが悪く、作業員が押さえ手を外したと思いフレコンバッグと手を解体フォークで掴んでしまった。	62	20309	7			1 ~ 9
2017	9	11~ 12	集合住宅解体工事現場において、重機で廃材を分別中に、被災者が突然飛び込んできたことにより、頭部を重機に挟まれ死亡したものである。	40	30202	7			1 ~ 9
2017	9	14~ 15	依頼のRC造（コンクリート製）煙突解体工事において、煙突解体中コンクリート破片が右目眼球にあたり負傷した。	76	30201	6			1 ~ 9
2017	10	8~9	解体現場にて、4tユニック車の荷台の上でバケツを交換中、鉄の棒と大ハンマーを使用し、ピンを抜く作業を3名でしていたところ、ピンが抜けたと同時にバケツのアームが動き、鉄の棒が傾斜し、持っていた本人の手に挟まり、左手の小指を骨折した。	49	30209	7			1 ~ 9
2017	10	14~ 15	アパート解体作業中、階段の鉄骨除却作業中、鉄骨のボルトを取る作業をするため移動中、重機で固定していた鉄骨が外れて、左太ももを負傷したものの。	61	30202	6			1 ~ 9
2017	10	16~ 17	木造住宅解体において、機械、人力併用で木軸の解体中に、重機オペレーターがグラフアタッチメント付き0.25?バックホウにて梁材（約6m）を持ち替える為に、梁材を掴んだところ、梁材が回転し他の廃材木材とぶつかり跳ね、近くで木材片を集めていた被災者踝に当たり骨折した。	65	30202	4			1 ~ 9
2017	10	9~ 10	家屋解体現場において、重機（解体用つかみ機）にて2階の木造スノコベランダを取り外す作業中、木造スノコベランダが予想以上に腐敗しており崩れた為、重機や家屋から十分に離れて廃材処理作業していた作業員の背中に木造スノコベランダの一部が落下し受傷した。	79	30202	4			10 ~ 29

2017	10	8~9	貸倉庫の電柱交換工事に於いて、新しい電柱（直径200m/m）を建てるためサンダーでアスファルトに溝を作っていた際に、サンダーが引っ掛かって履いていた安全靴に刃が飛び右足、小指を負傷したものの。	50	30202	4	1 ~ 9
2017	10	14~ 15	接岸中の本船に於いてスクラップ積荷の作業中、フックスのグローブでトレーラーの荷台からスクラップを掴みホールドへ落としたところ、1個のスクラップがグローブの爪に引っかかっており、フックスが回転して来た時に外れ、作業員の左太腿付近に当たり負傷した。	50	50202	4	10 ~ 29
2017	10	9~ 10	掘削作業中、約90センチメートルの深さで出た石をハンドブレイカーを使用して砕いていたところ、石からブレイカーのノミが滑ってしまい、ブレイカーを握る左手環指をブレイカーと掘削断面に挟み負傷したものの。	62	30199	7	1 ~ 9
2017	11	8~9	センター内調理場にて、包丁で人参の割り込み作業をしている際に、目の前を飛んでいるハエに気を取られ、誤って左手親指先端を切傷した。	27	30209	7	10 ~ 29
2017	11	17~ 18	仕分け作業場で仕分け在庫の確認の話をしようとグラップルで鉄板を挟んだコンボに近付き、会話中に鉄板の前が滑り落ち後が太腿側面に倒れて来た。（鉄板が前から滑り落ちて、後側が左足太腿側面に触れて負傷（打撲）した。）	40	150102	4	30 ~ 49
2017	11	14~ 15	解体工事の現場で、廃材の搬出材をトン袋に入れ、重機の爪機械に掛けていた時、ロープが外れて戻そうとした際、右手が重機の爪に挟まれ、右手薬指と小指を損傷した。すぐに作業を中止し、病院にて治療を受けた。	73	30209	7	1 ~ 9
2017	12	11~12	弊社選別場にて、17?車のコンテナに混合廃棄物を積み込み作業中、トラックスケールで計量してみると、積載オーバーであったため、0.2?バックホーにて過剰分を取り除く作業を他の作業者にたのみ、その作業中に、中身の確認をする為17?コンテナのはしごに登	54	150103	4	30 ~

			り、コンテナの中身が見え、バックホーのツメで掴んだ廃棄物の一部が左眼を直撃した（飛んできた）。不用意にコンテナ内を、どのくらいの量になったのか覗こうとしたのが原因である。				49
2017	12	10~11	敷地内にて、家屋の解体作業中、見通しの良い平坦な場所で、積載物をダンプに載せる（吊る）作業を行っているとき、ミニバックホウのハサミと荷に挟まって、右親指を骨折した。	66	30309	7	1 ~ 9
2017	12	11~12	被災者がスクラップの解体作業を行っていた付近で、別の作業者が重機を用いてスクラップの移動を行っていた。状況から見て、スクラップを移動させるため重機を旋回させた際に、遠心力でスクラップが飛んでしまい、被災者に当たったと思われる。作業者は、柱で被災者を認識できていなかった。	48	11009	4	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html